

談天

DANTEN



鈴木 賢

社団法人東北経済連合会 評議員会議長

せんだい街路樹マップ

東日本大震災により被害にあわれた皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

この度の震災では言葉では表せないほどの自然の猛威により多くの町や人を失ってしまいました。私も地震からしばらくは夜寝床で横になると、悔しさと応援してくれる方々への感謝の念で涙が止まりませんでした。津波の被害にあった沿岸部では3か月が経過しようとする今でもその爪痕は生々しく残されています。しかし、あの大災害の規模を考えればライフラインや通信、物流といったインフラの復旧の早さは驚異的だったと思います。復興に懸命に取り組む姿や、それを支援する人々の力、日本人の絆に世界全体が勇気づけられました。そして「猛暑や大雪、地震や津波とすべて自然にやられているが、癒されるのもまた自然」と誰かが話していたように、自然の中に生きる私たち人間はまた自然に癒してもらうことも必要なのでしょう。岩手の高田松原では津波で壊滅的な被害にあった松林の中で一本だけ残った「希望の松」や、幹を倒されながらも花を咲かせた桜の木の力強い生命力、生の輝きにも、私たちは励まされ、あきらめない気持ちを奮い立たされました。

5月になり青葉がまぶしい頃となりました。厳しい寒い冬の間、じっと耐え蓄えておいた力が春の陽射しで目覚め、ひと雨ごとに葉を繁らせ、枝を伸ばしていく様子を眺めるだけで生命力を分けてもらえる気持ちがするこの時期が、私の一番好きな季節です。

仙台市では「木を植えよう、杜をつくろう。百年後の杜の都のために」をキャッチフレーズに平成10年4月に仙台市百年の杜づくり推進基金を設置し、「百年の杜づくり」に取り組んでいます。仙台で街路樹といえすぐに思い浮かぶのは青葉通りや定禅寺通りのケヤキ、愛宕上杉通りのイチヨウなどでしょうか。仙台市で発行している「せんだい街路樹マップ」には仙台市内の道路に植えられている街路樹を樹木の種類ごとに色分けしてあり、実に多種多様な街路樹が植えられていることが一目でわかります。街路樹は人々に景観の美しさや癒し、憩いの場を与えてくれるだけではありません。夏には道行く人を夏の強い陽射しから守り、直射日光による路面温度の上昇を防ぎ、冬には放射冷却現象による気温の低下を緩和し路面の凍結を防いでくれる機能もあります。

ぜひ被災地の復興プランに町のシンボルとなりうる並木道づくりを取り入れていただきたいと思います。100年後、1000年後になっても3・11を忘れないためにも。

(株式会社バイタルネット 代表取締役社長・すずき けん)